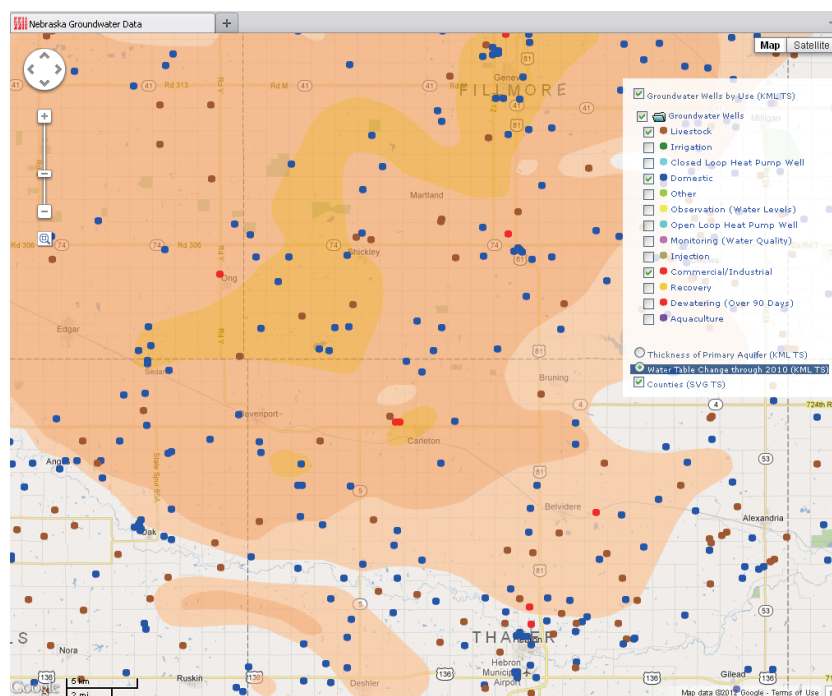


凡例を使って要素を検索する

KMLオーバレイを使ってジオマッシュアップを作るとき、属性に様々なスタイルを付けた地図要素（ポイント、ラインやポリゴン）を持ったKMLレイヤに対してその凡例を含めることができます。テクニカルガイド「ジオメディアの公開：ジオマッシュアップしたKMLレイヤの凡例（*Geomedia Publishing: Legends for Geomashup KML Layers*）」を参照してください。凡例の各項目にはチェックボックスがあり、そのカテゴリの地図要素の表示 / 非表示をコントロールできます。これらの凡例コントロールを使って、特定の属性スタイルの地図要素だけを表示することによって簡単なクエリ処理ができます。こうして個別に選択することによって地図要素の空間的分布を調べたり、他のレイヤの地図データの分布と比較できます。

右の図はKMLタイルセットレイヤを使った例で、ネブラスカ州全域の地下水のデータを描いています。KMLのポイントのタイルセットには約17万か所の地下水井戸の位置が示されており、水の利用法により分類されています。このデータセットには地熱用の熱ポンプシステムや、水質、水位の監視用また注入井等のような水の抽出が目的でない井戸も含まれています。ポリゴンのタイルセットは地下水位面のレベルの累積的变化を示しています。この図の一部の地域では、水面が9m程度低下しました。しかし他の地域ではほとんど変化が見られませんでした。井戸ポイントの凡例のクエリによって地下の帯水層から水を引き出す井戸だけに着目し、それを水面の変化の空間パターンと比較することができます。上の図では、家庭用、家畜用、工業用の井戸だけを表示しています。こうしたまばらな井戸の分布状態では、地下水面の低下のある地域との空間的相関がほとんど分かりません。それに対し、下の図では灌漑（かんがい）用の井戸のみを表示しています。他の汲み上げ用井戸よりもはるかに数が多く密集しており、地下水面の低下が顕著な領域に集まっていることが分かります。



これらの図は、ネブラスカ州の地下水井戸の位置を表すポイントデータ（KMLタイルセット）とその凡例です。簡単なクエリにより、様々なタイプの井戸の分布を地下水位が低下している地域と比較できます（色の付いた領域。ラベルは水位の低下量）。上図では、家畜用、家庭用、工業用の井戸だけを表示しています。これらの井戸と地下水位が低下している領域との間で空間的相関はほとんど見られません。下図では、灌漑用井戸のみを表示しています。これらの井戸は密集して地下水位が低下している領域に集中しています。

